

「リフレクションの志向性形成に機能する 学部と教職大学院の連携授業」

研究の概要

◆研究の目的

- ・リフレクションの志向性形成に機能する「福岡教育大学のスタイル」の具体的探究

◆研究の方法

- ・学部と教職大学院の合同授業の施行と内容の調整
- ・リフレクションを左右する環境への学習提案

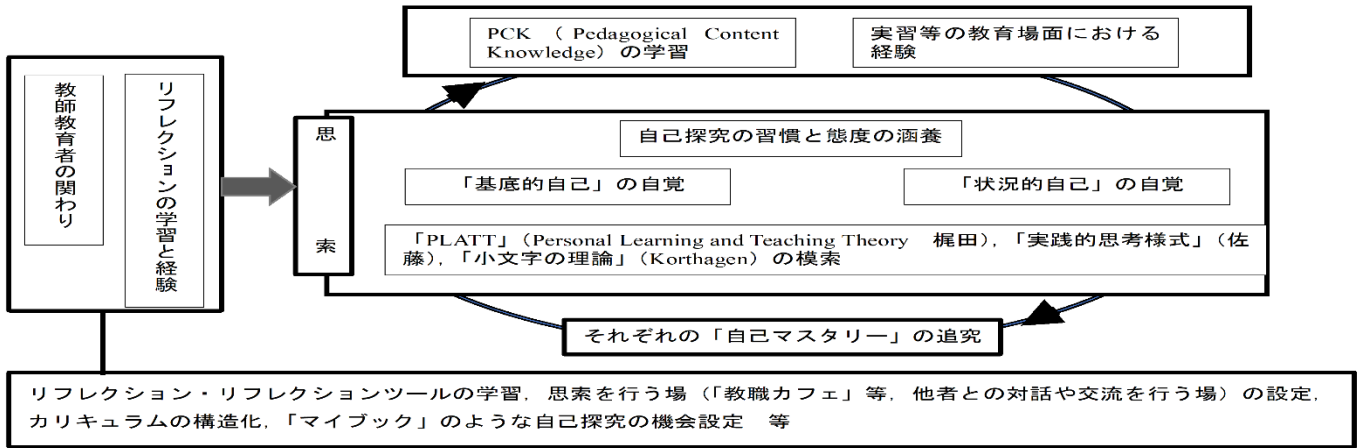
研究のポイント・成果

◆ポイント

- ・リフレクションの志向性形成に機能するために次ABCを実施した。
A 教師育成の学びの構造化 B 学部と教職大学院のコラボ授業 C 宗像市教委と連携模索

◆成果

A：教師育成の学びの構造化のイメージ図作成と学会誌採択論文



- B：2019年度の1/10日に2限、2020年度の12/14と25に各2限に実施・いずれも学部3年生を対象とした。（2020年度実施については、本学の大学院FD研修会として実施）学生のレポートからリフレクションを早期段階に学ぶ必要性を感じていることが捉えられた。2022年度から「教師教育における自己探究-リフレクション-」を学部授業として実施する予定である。
- C：校長会での資料配布，メンタリングを活用しながら市内の学校で2021年度からリフレクションについて研修を開始する計画を立案した。

今後の課題

「福岡教育大学のスタイル」が具体化するように、本研究の成果として「教師育成の学びの構造化のイメージ図」を作成し、授業科目の新設、市教委との連携を行なった。しかし、具体的な展開はこれからである。イメージ図を展開するためのリフレクションに関する科目を中心に学生が課程の中で学んだ内容、実習等で経験した内容を自己の中で整理し、他者との対話を手がかりとしながら自己探究ができる機会を確実に設定する。